

## 成果と課題及び指導改善のポイント

### 中学校国語（中学１年生、中学２年生）

#### 中学１年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- |                                    |        |
|------------------------------------|--------|
| ◇ 必要に応じて質問し、話の内容を捉える               | 設問1一   |
| ◇ 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする | 設問2二   |
| ◆ 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する        | 設問1二、五 |
| ◆ 表記や叙述の仕方などを確かめて、文章を整える           | 設問3三   |

#### 中学２年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- |                                 |        |
|---------------------------------|--------|
| ◇ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する | 設問3一   |
| ◇ 文章全体と部分との関係に注意しながら内容を捉える      | 設問3二   |
| ◆ 自分の立場や考えが明確になるように、話の構成を工夫する   | 設問1二   |
| ◆ 読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の改善点を見いだす   | 設問2四 1 |

#### 中学校国語の課題に対応した指導改善のポイント（☑していきましょう。）

- 表記や叙述の仕方などを確かめて文章を整えたり、話の構成や表現を工夫して自分の考えを分かりやすく伝えたりする設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。
  - 「根拠や説明が不足している」、「伝えたい内容が整理されていない」など、伝えたい内容が伝わりづらい例を取り上げ、分かりやすく伝えるためにどのように改善すればよいのかについて見いださせる活動を設定している。
  - 推敲の時間を確保するとともに、生徒の実態に応じて、表記や語句の用法、叙述の仕方、考えの根拠の適切さなど、観点を示して見直しをさせ、自分自身の話や文章を、聞き手や読み手の立場に立って見直す習慣が付くようにしている。
  - 「伝えたい内容が適切に伝わるような構成になっているか」、「伝えたい内容にふさわしい材料や語句を選んでいるか」など、分かりやすく伝えるための観点到に沿って交流する活動を設定している。



正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	6,858	69.2	2.5	56.0	

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数(問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の内容・領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	2	62.6	▼	1.0	▼	55.0	
	情報の扱いに関する事項	1	83.4		0.2	▼	70.0	
	我が国の言語文化に関する事項	2	87.0		2.0	▼	65.0	
	話すこと・聞くこと	5	62.9	▼	3.5	▼	54.0	
	書くこと	5	68.5	▼	2.5	▼	54.0	
	読むこと	5	68.7	▼	2.8	▼	54.0	
評価の観点	知識・技能	5	76.5		1.2	▼	62.0	
	思考・判断・表現	15	66.7	▼	2.9	▼	54.0	
問題形式	選択式	12	76.1		0.7	▼	60.0	
	短答式	2	69.0	▼	2.5	▼	60.0	
	記述式	6	55.4	▼	6.0	▼	46.7	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点	問題形式	正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言葉の特徴	情報の扱いに関する事項	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと			読むこと	県	県	県		
1	一	必要に応じて質問し、話の内容を捉える		○			○	○	91.7		0.0	60		
1	二	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する		○			○	○	52.3		1.4	60	○	
1	三	出典の示し方を理解する	○				○	○	83.4		0.2	70		
1	四	事実と意見との関係に注意して、話の構成を考える		○			○	○	64.9		0.2	60		
1	五	分かりやすく伝わるように表現を工夫する		○			○	○	40.4		7.7	50	○	
1	六	話の中心的な部分と付加的な部分に注意して、話の構成を考える		○			○	○	65.2		8.0	40		
2	一	文章の構成を考える		○			○	○	90.9		0.3	60		
2	二	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする		○			○	○	85.7		4.3	50		
3	一	根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する		○			○	○	42.5		4.7	40		
3	二	読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の改善点を見いだす		○			○	○	72.9		0.6	60		
3	三	表記や叙述の仕方などを確かめて、文章を整える		○			○	○	50.7		2.5	60	○	
4	一	接続する語句の役割について理解する	○				○	○	75.5		0.7	60		
4	二	文章の中心的な部分と付加的な部分について、叙述を基に捉える		○			○	○	64.8		0.6	60		
4	三	必要な情報に着目して内容を捉える		○			○	○	60.1		1.0	50		
4	四	目的に応じて必要な情報に着目して要約する		○			○	○	46.0		10.1	40		

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言葉の特徴	情報の扱い方に関する事項	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式	県		県		
5	一	登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える				○		○			○			89.2		1.0	60	
5	二	場面と描写を結び付けて、内容を解釈する				○		○			○			83.5		1.1	60	
5	三	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	○					○			○			49.7		1.3	50	○
6	一	文字の大きさ、配列などについて理解する			○			○			○			86.9		1.5	70	
6	二	歴史的仮名遣いを理解する			○			○			○			87.2		2.5	60	

集計結果 ※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
県	6,806	66.4	2.5	54.5	

※ 県の結果には、「未習：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数(問)	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の内容・領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	2	72.2	1.3	55.0			
	情報の扱いに関する事項	2	74.3	0.9	60.0			
	我が国の言語文化に関する事項	1	42.6	1.4	50.0	▼		
	話すこと・聞くこと	5	61.4	0.7	54.0			
	書くこと	5	70.0	3.0	58.0			
	読むこと	5	67.0	5.3	50.0			
評価の観点	知識・技能	5	67.1	1.2	56.0			
	思考・判断・表現	15	66.2	3.0	54.0			
問題形式	選択式	15	69.1	0.8	58.0			
	短答式	1	47.1	8.3	50.0	▼		
	記述式	4	61.3	7.8	42.5			

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点	問題形式	正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言葉の特徴	情報の扱いに関する事項	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと			読むこと	県	県			
1	一	異なる立場を想定しながら、伝え合う内容を検討する		○		○		○	52.5	0.1	50			
1	二	自分の立場や考えが明確になるように、話の構成を工夫する		○		○		○	34.9	0.1	60	○		
1	三	必要に応じて質問し、話の内容を捉える		○		○		○	69.7	0.2	60			
1	四	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する		○		○		○	67.6	3.0	40			
1	五	資料の提示方法を検討する		○		○		○	82.4	0.3	60			
2	一	伝えたいことが分かりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫する		○		○		○	71.4	0.4	60			
2	二	説明や具体例を加えて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する		○		○		○	65.2	4.3	50			
2	三	説明や具体例を加えて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する		○		○		○	90.3	1.2	70			
2	四1	読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の改善点を見いだす		○		○		○	64.2	0.9	70	○		
2	四2	読み手の立場に立って、文章を整える		○		○		○	58.8	8.3	40			
2	四3	出典の示し方を理解する	○			○		○	69.7	1.1	60			
3	一	文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する		○		○		○	83.2	0.9	60			
3	二	文章全体と部分との関係に注意しながら内容を捉える		○		○		○	78.9	0.5	50			
3	三	情報と情報との関係について理解する	○			○		○	78.9	0.7	60			
3	四	文章の論理の展開について考える		○		○		○	72.7	0.7	50			

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
		言葉の特徴	情報の扱い方に関する事項	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式	県	県	県		
4	一	登場人物の言動の意味などについて考える				○		○			○		47.1	8.3	50	○		
4	二	登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈する				○		○			○		53.3	15.8	40			
5	一	表現技法について理解する	○				○			○		67.3	1.2	60				
5	二	行書の書き方を理解する		○			○			○		42.6	1.4	50	○			
5	三	多義的な意味を表す語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	○				○			○		77.1	1.4	50				